

THE
Olympic Golf Club



AUGUST 2005 Vol. 12

ゴルフが好き！コースが好き！

～ コース管理全面委託にあたり ～

出席者 大川 清
北野 修身
(グリーンシステム株式会社
代表取締役)



聞き手 五嶋 雅徳
川島 好彦

今年の4月1日よりコース管理部門をグリーンシステム株式会社に全面委託をお願いすることになりましたが、委託管理会社について、コースメンテナンスについての考え方、メンテナンス方法、これからのメンテナンスの課題について、社長の北野修身さんにお話をお聞きました。

五嶋 大川会長は、ご承知のとおり日本アマチュアゴルフ選手権や世界シニアゴルフ選手権に優勝されたというトップアマとしての実績からお分かりのようにゴルフについて非常に精通されている。そして、このコースは大川会長のものすごく思い入れの強いコースであり、ゴルフに対する愛情、情熱とゴルフの実績に惚れて、また尊敬してメンバーになった方が多くいらっしゃると思うのですが、そういう意味で今回、大川会長がそういった会員にお応えする意味でもっともっといいコースにしたいという思いが、今回、北野社長にコース管理をお願いしようということになったと伺っております。

北野 微力ながら一生懸命努力させて頂きたいと思っております。現場ともども邁進しておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

五嶋 会員の皆さんは、北野社長、グリーンシステムさんについて殆どの方がご存じないと思

いますので、まずそのあたりについてお伺いしたいと思います。

プロフィール

五嶋 北野社長は堺でお生まれになって、近畿大学の理工学部 建築学科をご卒業されてるんですね。

北野 ゴルフとの出会いは、高校生ぐらいからゴルフを趣味にということで始めたんですが、大学に入学し体育会ゴルフ部に入りまして大学の4回生のときに、今後の進路を考えるにあたり、建築の方に進むかどうかというなかで、プロゴルファーになりたいという夢だけでそちらを選んだんですが、たまたま卒業して2・3年後にプロテストに合格しました。



それからトーナメントに出さして頂いてたんで

すけれど、小さい試合では優勝したこともあったんですがあまり大成することなく、その後、ゴルフ場のクラブプロを勤めさせて頂いて、最初は、月ヶ瀬カントリークラブでお世話になり、その後、出身の堺で新しいゴルフ場が出来たということで会員募集のお手伝いをする事から泉ヶ丘カントリークラブに移りました。当時は、どちらかといえばメンテナンスというよりは経理以外のゴルフ場運営に関する全般的なオペレーションやマーケティングをしていたんですが、これがなかなか面白い仕事かなと思うなかで、今から約11年前にゴルフコースのメンテナンスの仕事と出くわしたんです。私の友人が関わる徳島のゴルフ場にメンテナンスの会社をご紹介させて頂いたんですが、その会社が頓挫してしまい、その後のコースメンテナンスをどこが引き継ぐかというときに、その責任上、私がこのコースのメンテナンスを引き受けることになったのがきっかけなんです。

グリーンシステム社について

五嶋 こういった事をお聞きすると失礼ですが、芝生のことやら、排水のことやら、盛り土のことやら、そういった事をどちらで勉強されたのですか？

北野 当時は、まったくの素人で、大学で建築に関する土木、構造的なものは勉強しましたので多少は分かってたんですが、芝生の生態については、ゴルファーとしての芝生がいいか、悪いかについては感覚的に分かる程度で、具体的なコースメンテナンスについて勉強不足であまり知らなかったもので、アメリカに友人が多くいる関係で、アメリカに渡って一流のコースから下の方のコースまで見学しながらコース管理のこと、アウトソーシングのことを勉強しました。その頃に、アメリカで既に1社で600コースの管理を請け負う会社もあることを知り、これから日本のゴルフ場のメンテナンスも変わるかなと感じました。ただ、そのままのアメリカ流の方法でやるのではなく日本ナイズした方法であればいいのではと思いました。その頃の日本の

ゴルフ場は、まだまだようかん型というか横並びの業界で、当時日本では、殆どの経営者はコース管理のアウトソーシングのことは考えてなかったんです。それからすこし経ってバブル崩壊の影が大きくなってからは様々な形態のゴルフ場、いいものはより良くお客様に喜んで頂こうというコースと、その一方で、費用対効果を考えた合理的な管理による費用をかけずフィを抑えるパブリック的なコースと、少しずつピラミッド型へと分かれていった様に思います。そういった背景で当時、アウトソーシングについて雑誌に掲載させて頂いたり、講演したり、営業することにより、一つ、二つのコースと契約させて頂けるようになりました。

五嶋 今、御社で何コースを受注されているんですか？

北野 グリーンシステムは15のメンバーコースを受注してまして、関連会社のグリーンテクノ近畿とアルトはパブリック的なコースの管理とグリーンシステムへの人材派遣会社でもあり、これは効率的な労務管理が目的の会社なんです。

五嶋 資料を拝見しますと当初、10数名でスタートされたのが、今では約230名のスタッフがいらっしゃるということですが、1コースで何名が担当するんですか？



北野 1コース当たり約10名位の常駐スタッフと季節的に変動するスタッフ6名位の約16名位で動いています。

コースメンテナンスの理念

五嶋 ここまで成長されてそれまで色々ご苦労されたと思うんですが、どういった事で一番ご苦労されましたか？

北野 どんな仕事でも多分一緒だと思いますが、まー、自分がゴルフが大好きなんで、ゴルフ場にいるっていうことが幸せなんです。やはり一番大事なことは、人を育てることだと思うんですが、そして、それにもなう労務管理と管理技術のレベルを上げることが大事だと思ってます。そして、携わる人のモラルを下げないことが大切で、労務管理の面で申し上げますと、コース管理の計画通りにそのサイクルの中でタイムリーに次の日に持ち越すことなく、その日にやらないといけない事は絶対にやり終える。そのことにより芝生はいいように反応する。労務管理は人の都合ではなく、気候に合わせて適期に作業をこなすことが基本だと考えています。

川島 今、ずーっと北野社長のお話を聞かして頂きましたけど、やっぱりゴルフが好き、芝生が好き、グリーンが好き、グリーンを良くするのだとか、そういうのがもとに流れているような気がして、それに尽きてるように今のお話をお聞きして思いましたね。



北野 お客様の立場になって、働く人が芝生に合わせて作業しないといいものにならないということだと思うんです。

コースメンテナンスの抱負と計画

五嶋 オリンピックでコース管理を始められてまだ二ヶ月程しかたっていませんが、コースを見られて今どういう状況か、これからどういう風にして行きたいのか、抱負なり計画があればお聞かせ頂きたいのですが。

差し支えない程度に。(笑)

北野 現場が日々コース管理をしているなかで一番大事なのは、やはりグリーンなんです。ここはゲームの主体性が集中する場所ですので、ここをより良くしていくことが一番に挙るテーマになると思います。長年に亘ってグリーン面の下の土壌の不均一性が出てくるんですが、例えば、水の浸透性が悪い箇所があれば、夏の日照でそこが焼けやすくなりますが、その悪くなった部分をその都度改良する、そういったことをこれから年数かけて改良することにより均一性の高いターフにしていくことと、グリーンのカラーから高麗芝にはみ出しているベントを無くしていくことですね。コース全体でいえば、フェアウェイ、ラフも広いので大胆にティショットを打てていいのですが、コースが広いと一方でコース全体がぼやけて見えてしまう部分がありますので、プレーヤーから見た美観をよくする意味で、バンカーのエッジ、グリーンとカラーとエプロン、フェアウェイ、セミラフ、ラフの境界を整えて、それぞれのターフを目の詰まった均一性の高いしっかりしたターフに育てていき、コースにメリハリをつけていきたいですね。

コースメンテナンズについて

五嶋 アメリカに何度か勉強に行かれたということですが、アメリカのゴルフコースと日本のゴルフコースの管理方法ってかなり違うんですか？

北野 基本的にアメリカの方法がプラスになるというより、アメリカは洋芝なんで、芝の種類が違いますので管理の方法が全然違うんです。

五嶋 あー、そうなんですか。

北野 効率というところが、より自分達には勉強になったかと思えます。

五嶋 例えば、どういった効率ですか？

北野 当たり前のことを実践していることなんですけど、例えば、夏の作業が多くなり作業が遅れだすとコースのコンディションがどんどん悪くなるんですが、今までは作業員の都合で仕事が先延ばしになっていたところを必要な時に多くの人員、機械を導入し、適期に作業を終わらせてしまうこと。病気や、虫の対策も早いうちに手を打つことが全体的に見て効率化につながるんです。そういったところが、外注の良さだと思うんですよね。それが、効率的という意味なんです。

五嶋 なるほど、そうですね。

川島 フェアウェイ、刈りますよね。夏は大体どれぐらいで刈るんですか？

北野 そうですね・・・夏の頻度は、最盛期で1週間に1回は刈りますね。

川島 私は、その、特にプレー中は、「やめて！」といたくなるコースもあります。私は今までオリンピックではプレー中に機械が唸っているのを見たこと無いんですが。

北野 お客さんがプレーしている時には出来るだけ大型機械の作業をしないというのがベースにあるんです。

川島 実は、先ほどアメリカで効率的なコースメンテナンスを学ばれたということでしたのでお聞きしたのですが。

北野 基本的には、お客さんの見えない所でプレーの邪魔にならない場所で作業するようにすることは、労務管理的な教育と工夫が必要になってきますし、先ほど申しあげましたようにプレーヤーの目線でコースメンテナンスを心がけることが大事だと思っております。

五嶋 スタッフは常駐しているんですか？

北野 はい、常駐しているんですよ。今だったら、12人ぐらいは、常駐していますね。

五嶋 極端にいうとバンカー均しから全部・・・

北野 コース管理の範囲は、クラブハウスやその周りの人工物以外は全部なんです。ですから、コース内のことは、道路の補修工事とかは

別ですが、道路の上のゴミの掃除もさせて頂いています。

川島 最近、僕が一番感じるのはオリンピックの場合、今頃ですと落葉が多いですよね。落葉の回収に使う袋と、作業の風景が以前より多くなったんで綺麗になっていいなと思ってるんですが。

北野 現場は大変みたいです。(笑)

大川 落葉樹は年に1回、楠木や榎木などの常緑樹は年2回です。だから、今、非常に多いときです。



川島 その落葉が、プレー上、邪魔になるところがあるんで、プレーヤーにとっても綺麗にして頂いてるんだなというのは感じますね。

北野 放っておいても別に害は無いんですけど、プレーの快適さとビジュアル的な部分ですので、最大限そのあたりはやらして頂くように努力したいと思います。

川島 それと、今回の開場記念競技の時のグリーンがものすごく良かったと思いますし、みんなの声なんです。グリーンは今までも定評があったのですが、より以上良くなったという声をよく聞きます。

北野 大変有難いお話です。

大川 いまのところ、コースそのもののメンテナンス、フェアウェイ及び、グリーン、ラフの管理はいいですね。正直満足しています。今年の1月に腰の手術をしまして、ゴルフ場にいる時は、最近、リハビリでずっとコース内を歩いて、ラフもバンカーもグリーンもみんな見て歩いてる。そうすると、最終のプレーヤーが終わった後に

スタッフがグリーンのボールマークを直してるんですが、その直し方も良くなってる。グリーンに関していえば、床はしっかりしてると思うんですけど、前から課題になっているのが、今までの機械でエアレーションをすると機械の打ち込みの深さが一定してるでしょ。それが原因で固い層が出来てしまっているかな、という心配があるんです。

北野 そうだと思います。

大川 それを突き抜ける機械が最近あるようで、それをなるべく早くして頂いたらもっとグリーンが良くなるのではと。で、以前はどちらかというとグリーンがウェットになり過ぎて、ボールマークが大きく付くことがありましたが、最近、メンバーさんから「ちょっとグリーンが硬くなったね」といわれたりします。

北野 コースコンディションの設定については、会長、社長、支配人のご意向を良くお聞きしコンディション作りに努めたいと思っておりますので何なりとおっしゃって下さい。



大川 それから、私が最初北野社長にお会いしたときにお願ひしましたね。バンカーとか最初設計したときに図面に書いたのと現場では、私のイメージと合っていないところがあるので、バンカーはやはり絵にならないといけないんですけど、そういったところをこれから直して行きたいと思ひます。もう一つ、植木のことで、最初、大きな樹を植えてからもう17、8年経ち、やっと根付いて枝葉がかなり茂っている、風通しも悪ければ育ちも悪くなるので、今は芝刈りなどの作業が忙しいので、そういう時

期が過ぎたら剪定をぜひお願ひします。以前は、私が率先して剪定し随分と植木の手入れに力を入れていて、私の腰を痛めたのもそのせいでこうなつたんですけど、今でもやりたいんだ。見たら、もう、放っておけずやりたくなるんだけど、ですから、その方もぜひとも心がけて頂きたい。

ゴルファーに一言

五嶋 実は、倶楽部の有志というか会員の皆さんの賛同を得まして、1番ホールと10番ホールに花をついこの間植えたんですが、ゴルフ場は広いので思った程目立たないですけどね。

北野 いいえ以前と違い、随分印象的ですよ。

大川 大変綺麗になった。

五嶋 これをきっかけにして、花の咲く、実のなるコースを造って行こうということですので、いい知恵がありましたらよろしくお願ひしたいんですが。北野社長は今まで、プロゴルファーとして、またゴルフ場の現場のオペレーションの経験、15以上のコースメンテナンスの委託、と様々なことを通じて専門家として、メンバー、一般プレーヤーに、こういう具合にすれば、ゴルフコースは傷まないし、大事なことなんだよ、ということを一言お願ひしたいんですが。

北野 そんな、おこがましい事は申し上げられないんですが、まー、我々はプレーヤーの皆さんと一緒に愛情を持ってコースに接して行きたいと思ひしております。

例えば、グリーンのボールマークを直すと、ディボット跡の目土だとかも愛情を持ってして頂くと、そういう気持ちになって頂いたら本当に有難いですね。

五嶋 最近、セルフプレーが増えまして、カートに目土袋とか色々準備してもらっているんですが、まーっ 殆ど目土をするプレーヤーはいませんね。

大川 最近、結構増えましたよ。

五嶋 すいません！（笑い）

北野 愛情表現として、グリーンのボールマーク直しなり、目土なり、雨の日の乗用カートの

運転なんか、道からはみ出さないように運転するとか、そんな風にコースを可愛がっていただけだと。

五嶋 割とメンバーの中にも無頓着な方がいらっっしゃいますね。



川島 メンバーで色々な人がいるんですが、プレーの後に皆で集まって目土をしようというのもいいんですが、それ以外にテーマで回っている人がいるんですよ。一日一善ではないけど、ワンラウンド一善、目についた折れた木を拾ってカートの後ろに集める人、バンカーの均し忘れを綺麗にしていく人、ディボット跡、ボールマークを直す人、タバコの吸殻、折れたティをゴミ箱に入れる人、私なんかは、バンカーのレーキをきれいに置き直すのが趣味なんです。で、そういうことを余裕のあるプレーヤーがちょっと心がけてコースに愛情を持って接すれば本当にいいなと思いますね。

北野 ディボット跡に砂を入れたり、ボールマークを直したりしながら、一緒にいいコースを造って行きたいという愛情の形、表現ですよ。それが他の意味でも良い効果が期待でき、例えば倶楽部の雰囲気も、もっとよくなると思うんです。コース造成から今までの経緯は、会長を初め皆さんからよくお聞きしておりますので、これから、ますます良くなるよう一日、一日を積み重ねて行きたいと思っております。

五嶋 大変いいお話をお聞かせ頂いて有難うございました。会長も社長も支配人も、会員にそして、プレーヤーにより満足して頂けるコースを提供したいと強く思われていますので、ぜひとも我々の期待にお応え頂けますようご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本日はありがとうございました。

グリーンシステム株式会社の概要

- 代表者：北野 修身
- 設立：平成7年
- 主な事業内容
 - スポーツターフ委託管理業務
 - 環境緑化関連業務
- 所在地 大阪本社
 - 大阪市中央区久太郎町 1-9-12
- 関連会社
 - 有限会社 プロテック
 - 有限会社 アルト
 - 有限会社 グリーンテクノ近畿
- 主な事業所
 - 秋津原ゴルフクラブ
 - アートレークゴルフ倶楽部
 - 泉ヶ丘カントリークラブ
 - A B Cゴルフ倶楽部
 - オリエンタルゴルフ倶楽部
 - タラオカントリークラブ
 - 美作カントリークラブ
 - ローズウッドゴルフクラブ
 - その他7コース



大川 清

腰痛（休場震災剪定そして・・・）

平成6年春先、ため池の水質を改善すべく池の水を半分抜いてから雨が殆ど降らずその夏は大旱魃、前年の冷夏と長雨により芝生の根が衰弱していたことなどが重なり、秋にはコースの大半の芝が枯れてしまった。この状態では営業は困難と、平成7年1月6日から復旧工事のため6ヶ月間休場することを決断した。休場して間もなく「阪神・淡路大震災」が17日の早朝に勃発し、中国道は全面通行止め、阪神間の交通機関は完全に麻痺したが17日の夕方に自宅の豊中を出発し、能勢、三田経由で約6時間かかりゴルフ場に到着した。心配した被害は、クラブハウスの壁2・3箇所にはびが入ったのと、コースは15番ホールのティーインググラウンドの一部が崩れた程度の被害だったので一先ず安堵した。

私夫婦と支配人夫婦の4人は、ゴルフ場に泊り込み工事現場の監督をする生活が始まった。当初はクローズしたことや解雇した社員に対する済まない気持ちなど様々な思いで一杯だったが、いざ工事が始まるともっと良いコースにしてやろうという意欲が膨らみ復旧工事に止まらず、各ホールの改造、乗用カート道の敷設、全ホールの客土と芝の張替、約600本の植栽と、新しく生まれ変わるための工事を進めていった。今から思うとこの6ヶ月間は希望に満ちた大変充実した日々であった。作業会議と現場確認の合間の時間を利用して、本で勉強しながら植木の剪定を始めた。自分なりの美を求めて仕上げると樹が見る見るうちに綺麗な姿に変わっていくので、早朝から日暮れまで剪定に没頭する日々が過ぎていった。しかし、力任せに高所の剪定も足場も組まず左手でぶら下がったままで剪定

に熱中する有様で、腰に悪い姿勢での長時間の作業が原因で腰に痛みを覚えるようになった。

そのうち、歩行が困難になるほど傷みが強くなり病院に行った結果「脊柱間狭窄症」と診断された。それからも騙し騙しゴルフをしていたが、症状が更に悪化したため手術を受けることを決断した。術後の経過は良かったが、1年程たって今度はフローリングにあった座布団で足を滑らせ尻餅を突き、第3番目の脊柱を圧迫骨折してしまい2度目の手術を受けたが直りが思わしくないで、今年の1月12日に3度目の手術を受けた。お陰様で術後の経過も順調で、6月に先生からゴルフをしてよいとの許可を頂き週に1回程度のプレーと、リハビリは腹筋背筋を強くするため1万歩を目標に歩いたり、プールでの水中歩行、ストレッチングなど先生方らのご指導を頂きながら今なおリハビリに専念しております。

余談ですが、私は皆さんに「ゴルフで腰は痛めない、スウィングが悪いと腰を痛める」と断言しておりましたし、私自身もゴルフで腰が痛めたことが一度もなかったのです。背中を強く捻らず肩からお尻を一体にしてテークバックし、フォローで腰をターゲットに向かって回し、下半身を上手に使えば腰を痛めることは無いのです。原因はともあれ自らの腰を痛めてしまった今では何とも申し上げる言葉がありませんが、今思いますところ自信過剰も著しく健康管理のまずさが原因と、後悔と恥ずかしい思いで一杯であります。どうぞ皆様はくれぐれも無理をなさらずに健康に留意なさってください。